

“本当に必要な機能とは何か”を明らかにし
すべての人を支える新たな支援ロボットの開発を行っています



機構開発，制御システム立案
CAD図面，プログラミング設計
3Dプリンタによる試作機開発
様々な評価機器による有効性評価
展示会や学会等による社会周知活動

自身の機能を活用することで
長期的なQOL(生活の質)向上の
獲得が可能なモノづくり

看護学部との連携

- ・ 福祉施設や介護現場における有効性検証実験
- ・ ニーズ調査
- ・ バイオメカニズム的知見共有

医学部との連携

- ・ 実際の障害者や高齢者による有効性検証実験
- ・ リハビリテーション評価
- ・ 医学的的知見共有

伊丹研究グループ

青山学院大学 理工学部 電気電子工学科